

JR 宇美駅 無人化対応は

答 ねばり強く取り組む



鳴海 圭矢 議員

問 JR宇美駅が無人化して、はや一年。駅員は必要という町民の要望は根強いと確信している。町として無人駅の問題をどう捉えているのか。

総務課長 駅はその町の顔である思っている。JR九州の方針もあり、長い道のりになるだろうが、いつかは有人化復活を願いたい。駅舎を何らかの方法で活用できないかという気持ちもある。

問 駅舎の線路側は道路と線路を隔てるものがほとんどない状態である。落差もあり、危険である。フェンスを設置するなど安全対策が必要ではないか。

建設課長 過去にJRから転落防止柵の設置要望が出されている。平成28年度において交通安全対策交付金を活用し、ガードレールの設置等を現在検討している。

問 駅横の公衆トイレは多目的トイレが封鎖されたままである。また、男性トイレは寒波による水道管破裂が原因で水が止まっている。改修の見込みはどうか。

財産活用課長 多目的トイレの扉は修繕しては壊されの繰り返しであるが早々に対応したい。

男性トイレは町内管工事組合とも話し合いをしているが、まだ一般家庭の修繕が終わらないのでそちらを優先している。

現在工程等について調整をしている。

問 有人化に向けてねばり強く取り組む姿勢を執行部として今後も堅持してほしい。今後、具体的にどういう形でJRと協議をするのか。

総務課長 地元の国会議員を通じて陳情など今後も有人化に向けて活動していきたい。



▲ガードレールの設置を検討



黒川 悟 議員

今後の インフラ整備は

答 財源確保に取り組む

問 上下水道は、町民生活の基盤となる生命線であり、ライフラインが止まると社会に重大な影響を与える、埋設配管の劣化で布設替えが必要と思うが、状況は。

上下水道課長 下水道整備に伴い、布設替えを行ってきた。耐用年数を迎える地区は、平成37年度までの長期整備計画を現在作成している。

問 県道筑紫野古賀線、桜原交差点に対する信号機の改善は。

建設課長 粕屋署には要望しているが、渋滞等が懸念され、改善には至っていない。町道側で交差点の路面に注意喚起を行う。

問 県道筑紫野古賀線の今後の見通しは。

課長 総延長の4割が4車線化。太宰府までの2.1kmについて、現地調査及び測量を経て詳細設計並びに警察協議が進められている。道路計画に基づき、地元説明会や用地交渉が行われていく。

問 町道、町内全般の安全施設等の点検、整備は。

課長 台風や豪雨等非常時は、町内全域をパトロール、道路等の状況把握に努めている。各行政区の要望は、現場を確認、職員で対応、必要性等を総合的に判断し、事業の実施を検討している。

産業や生活の基盤となる道路整備については、予算内で現状把握に努めたい。

問 公園等の定期点検及び整備状況は。

都市計画課長 宇美町コミュニティ・センターに業務の一部委託、月に1度すべての公園等を点検している。緊急の場合、即時報告が入り、使用禁止の措置又は修繕を行っている。

問 昭和の森トイレを補助金活用で改修できないか。

課長 県との協議の中で社会資本整備総合交

付金を利用して可能な検討中である。

問 基金取り崩しを踏まえ、インフラ整備等の遅れが懸念されるが。

町長 平成28年度に公共施設の総合管理計画を策定、整備、更新、統合等の検討をする。財源確保は、より一層の選択と集中による財政運営を行い、歳出削減に努める。



▲原田小学校通学路整備